



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4801 URL <https://www.central.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 聖治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 刀禰 精之 TEL 03-5543-1803
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,461	△0.7	993	△9.4	861	△11.3	566	△5.8
2019年3月期第1四半期	13,559	3.1	1,095	13.2	970	11.0	601	2.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 559百万円 (△0.5%) 2019年3月期第1四半期 562百万円 (△0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	50.29	—
2019年3月期第1四半期	53.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	42,635	23,822	55.8	2,113.10
2019年3月期	43,125	23,702	54.9	2,102.44

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,805百万円 2019年3月期 23,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	27,570	1.7	2,355	15.2	2,050	9.5	1,400	17.1	124.27
通期	56,100	3.4	4,885	15.2	4,400	11.4	2,850	8.0	252.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	11,466,300株	2019年3月期	11,466,300株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	200,614株	2019年3月期	200,614株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	11,265,686株	2019年3月期1Q	11,265,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、雇用や所得環境の改善が続く中で、全体としては緩やかな回復基調で推移しております。海外経済では、米中貿易摩擦や英国のEU離脱交渉に伴う混乱等の影響から、先行き不透明な状態が続いていると判断しております。

当フィットネス業界におきましては、超高齢社会を背景に健康寿命延伸への期待が更に高まり、それに関連する事業やサービスの展開が拡大している状況の中、来年開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、各種スポーツの競技会およびイベントが数多く開催されていることにより、日本全体のスポーツ熱が高まり、国民のスポーツに対する関心は益々大きくなってきております。

当社所属選手も奮闘し、7月に開催する世界水泳選手権大会には競泳の松本克央（まつもとかつひろ）、小日向一輝（こひなたかずき）、オープンウォータースイミングの新倉みなみ（にいくら）、飛込の金戸凜（かねとりん）の4選手、10月に開催する体操世界選手権大会には谷川航（たにがわわたる）、萱和磨（かやかずま）、島田瞳（はただひとみ）の3選手、合計7名の選手が出場権を獲得いたしました。

このような状況の中、当社グループは経営理念である『0歳から一生の健康づくりに貢献する』のもと、お客様の心に響くサービスを目指し、顧客満足度の向上に努めて参りました。

店舗数につきましては、4月より業務受託施設として「芦屋海浜公園水泳プール・朝日ヶ丘公園水泳プール」（兵庫県芦屋市）、「熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）」（大阪府泉南郡）、「大阪市立此花スポーツセンター」（大阪市此花区）、「大阪市立都島屋内プール」（大阪市都島区）、「大阪市立中央屋内プール」（大阪市中央区）の5施設の運営を開始、直営店では「セントラルスイムクラブ千葉店」（千葉市中央区）の運営を5月末に終了すると同時に6月より同区内で「セントラルフィットネスクラブ蘇我店」の運営を開始し、第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営171店舗、業務受託64店舗の合計235店舗となりました。

会員動向につきましては、スクール会員は前年を上回る水準で推移していますが、フィットネス会員は主に既存の総合型フィットネスクラブの会員数が減少傾向となり、前年を下回っております。

店舗運営につきましては、新規会員の獲得と既存会員の継続率向上・退会防止に努めるとともに、お客様の満足度向上を図るための顧客満足度調査を実施し、調査結果から得た課題を改善するための取り組みを進めております。また、既存店舗のリニューアル工事を計画的に進めることにより施設環境の改善にも努めております。フィットネス会員向けには、引き続き新規プログラムの提供に力を入れており、“ワンダフルスポーツアクア”と“アスリートキャンプ 挑戦”などを提供いたしました。キッズスクール会員向けとしては、野外スクール活動を強化しており、キャンプや合宿などのツアーイベントが堅調に推移しております。

新たに強化しているオリジナル食品については、アミノ酸サプリメント“BCAA”と“EAA”を開発、販売を開始し、運動と食を融合させることによる「ひとつ先の健康サービス」の提供を目指しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,461百万円（前年同期比0.7%減）、経常利益は861百万円（前年同期比11.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は566百万円（前年同期比5.8%減）となりました。前年同期と比べ減収減益となった要因は、主にフィットネス会員の減少および人件費・水道光熱費の高騰によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ490百万円減少し、42,635百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産合計が728百万円減少、建物及び構築物の増加により有形固定資産が292百万円増加、また、繰延税金資産が増加、敷金及び保証金が減少したこと等により投資その他の資産合計が46百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ610百万円減少し、18,812百万円となりました。その主な要因は、短期借入金、流動負債のその他に含まれる未払費用が増加した一方で、前受金、未払法人税等、賞与引当金が減少したこと等により流動負債合計が429百万円減少し、また、長期借入金が増加したこと等により固定負債合計が180百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ120百万円増加し、23,822百万円となりました。この結果、自己資本比率は、55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2019年5月13日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,420	4,988
受取手形及び売掛金	1,227	952
商品	246	228
貯蔵品	69	69
その他	1,319	1,315
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	8,281	7,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,365	30,940
工具、器具及び備品	5,397	5,402
土地	7,634	7,637
リース資産	6,455	6,503
その他	601	583
減価償却累計額	△28,747	△29,068
有形固定資産合計	21,707	21,999
無形固定資産		
投資その他の資産	284	277
繰延税金資産	1,043	1,115
敷金及び保証金	10,727	10,600
その他	1,132	1,139
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	12,852	12,805
固定資産合計	34,844	35,082
資産合計	43,125	42,635

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	262	174
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	949	839
未払法人税等	833	452
賞与引当金	727	394
役員賞与引当金	64	18
前受金	3,111	1,969
その他	4,526	5,197
流動負債合計	10,476	10,046
固定負債		
長期借入金	1,988	1,801
リース債務	5,020	4,983
退職給付に係る負債	108	110
資産除去債務	1,354	1,388
その他	473	482
固定負債合計	8,946	8,765
負債合計	19,422	18,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	19,566	19,693
自己株式	△418	△418
株主資本合計	23,682	23,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	17
為替換算調整勘定	△15	△21
その他の包括利益累計額合計	2	△4
非支配株主持分	17	17
純資産合計	23,702	23,822
負債純資産合計	43,125	42,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	13,559	13,461
売上原価	11,444	11,438
売上総利益	2,114	2,022
販売費及び一般管理費	1,018	1,029
営業利益	1,095	993
営業外収益		
補助金収入	7	8
受取保険金	7	—
その他	10	10
営業外収益合計	25	18
営業外費用		
支払利息	148	149
その他	2	1
営業外費用合計	151	150
経常利益	970	861
特別損失		
店舗閉鎖損失	84	—
特別損失合計	84	—
税金等調整前四半期純利益	886	861
法人税、住民税及び事業税	353	398
法人税等調整額	△67	△103
法人税等合計	285	294
四半期純利益	600	566
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	601	566

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	600	566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△0
為替換算調整勘定	△41	△6
その他の包括利益合計	△38	△7
四半期包括利益	562	559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	559
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。